

食物経口負荷試験

●食物経口負荷試験とは？

- アレルギーの症状がでる可能性のある食品を病院で食べてもらい、症状がでるかどうかをみる検査です
- 病院の中で食べることにより、症状が出た場合は速やかに対処できる環境で安全に食べられる量を見つけます
- この「食物経口負荷試験」の結果をふまえて、「経口免疫療法」といって、安全に食べられる量を見つけて、少しずつ増やしていき、体を慣らしていく治療を行っています

●検査方法

- ・どのような症状がでる可能性があるのか、事前によく説明し同意書を頂いたうえで検査を行っています
- ・医師から指定された食べ物を持参してください
(市販の食べ物の場合は、必ず食品表示がついているパッケージを持ってきてください)
- ・15～30分、時間をあけて少量ずつ食べていきます
- ・症状が出現するか様子をみながら、どのぐらいまで食べるかを決めていきます



少しずつ時間をおいて食べていきます。最後に食べてから1-2時間病院の中で様子をみます。



- ※ いつも飲んでいるお薬がある方は、あらかじめご相談ください 中止してもらうことがあります
- ※ お手拭き、お茶、エプロン、スプーン、おもちゃなど必要なものを持ってきてください
- ※ 検査当日は、激しい運動は控えてください

体調が悪いときは、キャンセルのご連絡をくださいね
あおぞら生協クリニック 06-6436-1724

